

# L6max

LiveTrak



## クイックツアー

製品に関するソフトウェアやドキュメントは以下の Web サイトでご覧いただけます。



[zoomcorp.com/help/l6max](https://zoomcorp.com/help/l6max)

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください。

© 2025 ZOOM CORPORATION

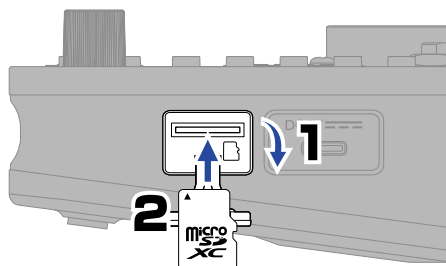
本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

本マニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

本マニュアルの内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

白黒端末では正しく表示できません。

## microSD カードをセットする

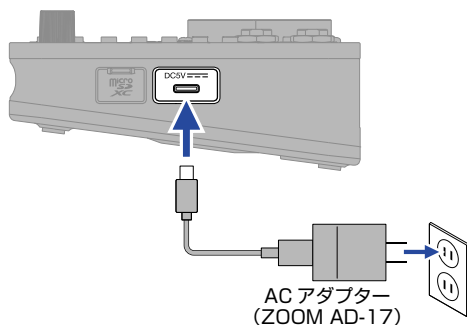


対応記録メディア  
microSDHC メモリーカード  
microSDXC メモリーカード  
動作確認済み microSD カードの使用をお勧めします。  
ZOOM の Web サイト ([zoomcorp.com/help/l6max](http://zoomcorp.com/help/l6max)) で確認してください。

- microSD カードを抜き差しするときは、必ず電源を OFF にしてください。
- microSD カードを取り出すときは、一度スロットの奥に押し込んでから引き抜いてください。  
microSD カードが飛び出さないようご注意ください。

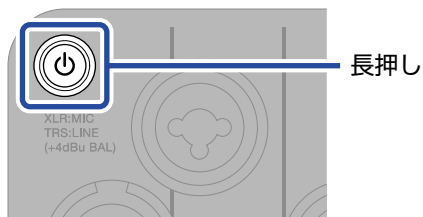
## 電源を入れる

### AC アダプターを接続する



モバイルバッテリーや単三乾電池 4 本（アルカリ乾電池、ニッケル水素蓄電池、リチウム乾電池）にも対応しています。

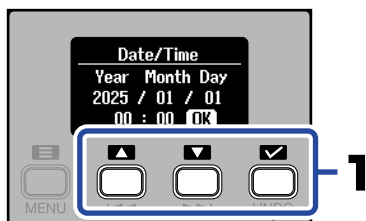
### 電源を入れる



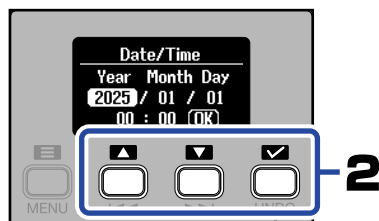
L6max は操作をしない状態で 10 時間経過すると、自動的に電源が切れます。  
常に電源を ON にしたい場合は、電源の自動 OFF 機能（Auto Power Off）の設定を「Never」にしてください。専用アプリ「L6 Editor」でも設定できます。  
(→「[パソコン用アプリ「L6 Editor」](#)」)

# 初回起動時の設定を行う

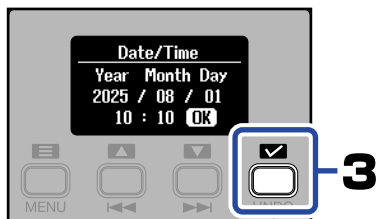
## 日時設定



設定項目を選択して、 で決定する



値を変更して、 で決定する



全ての項目を設定したら、「OK」を選択して、 で日時設定を終了する

ここで設定した日時は、録音ファイルが保存されるフォルダ名（プロジェクト名）として記録されます。

## 電池タイプの設定

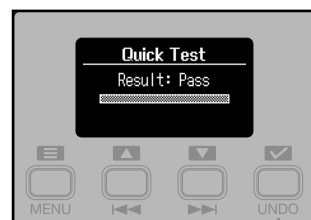
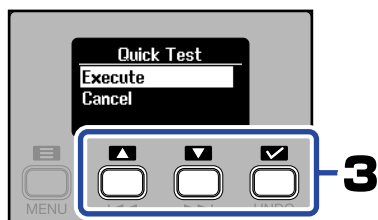
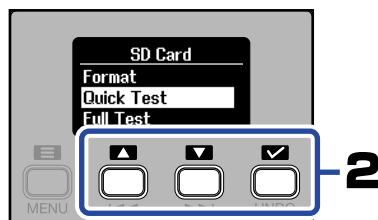
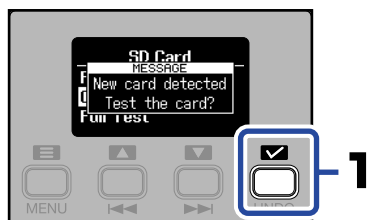


電池残量を正確に表示するために、使用する電池の種類を正しく設定してください。

Alkaline : アルカリ乾電池  
Ni-MH : ニッケル水素蓄電池  
Lithium : リチウム乾電池

## SD カードテスト

L6max で初めて使う microSD カードをセットした場合、SD カードテスト画面が表示されます。クイックテストは microSD カードの容量に関わらず 30 秒程度で性能を確認できるので、テストすることをお勧めします。

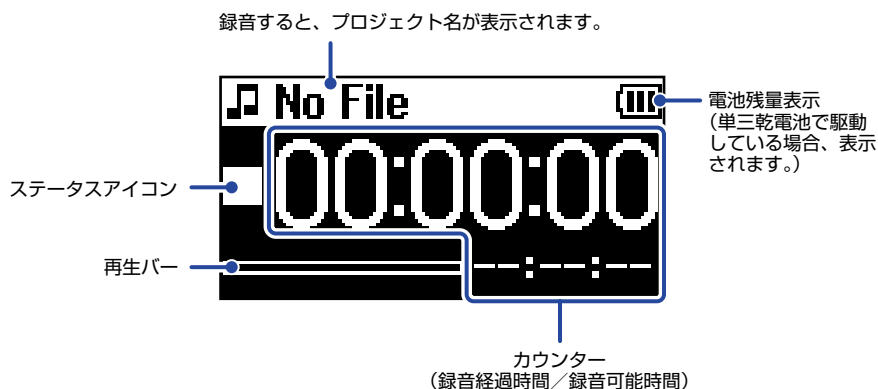


 を 2 回押して、ホーム画面を表示します。

フルテストは全領域を確認するため、microSD カードの容量に応じて必要な時間が変わります（64 GB で約 2 時間半）。

SD カードテストは、Menu 画面からいつでも行えます。

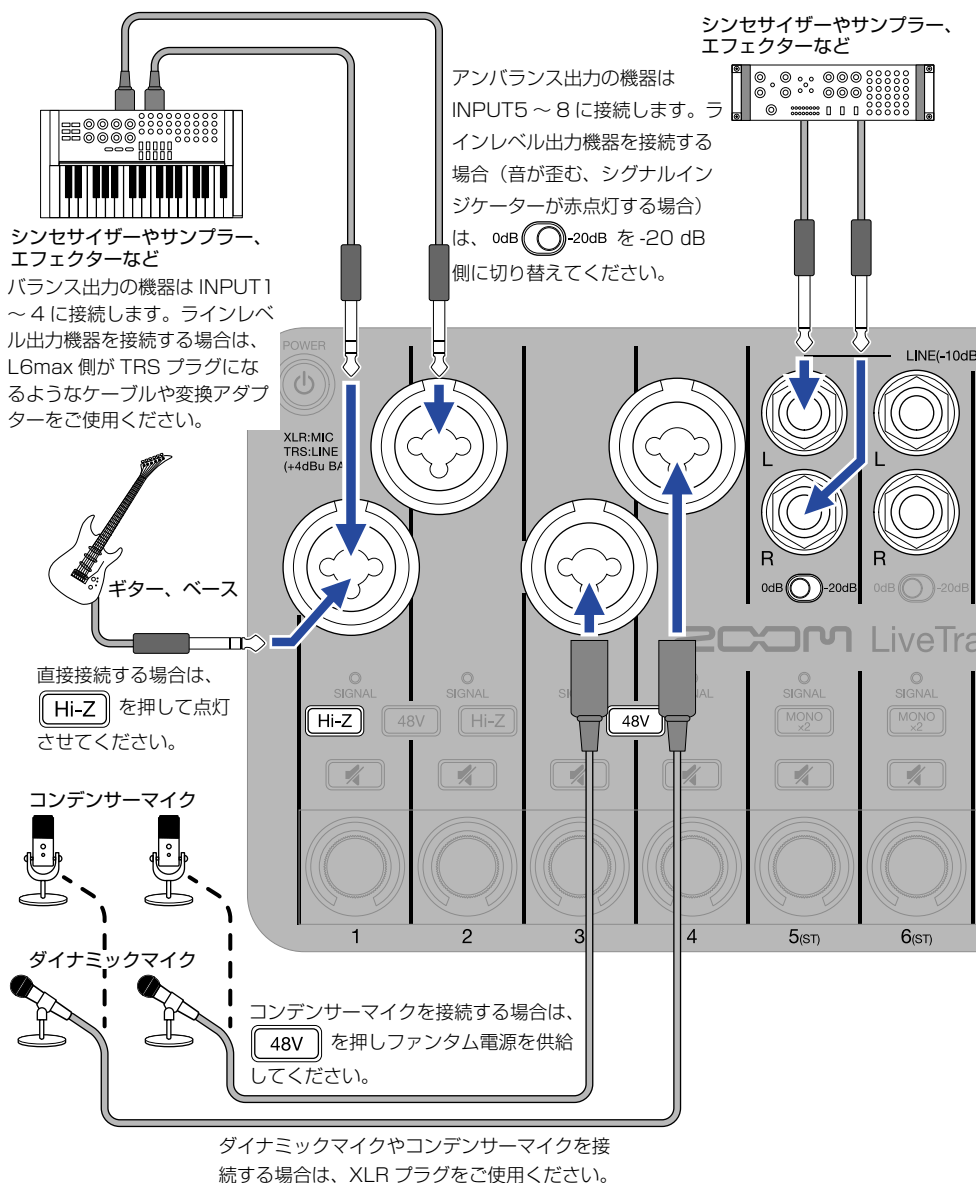
### ■ホーム画面





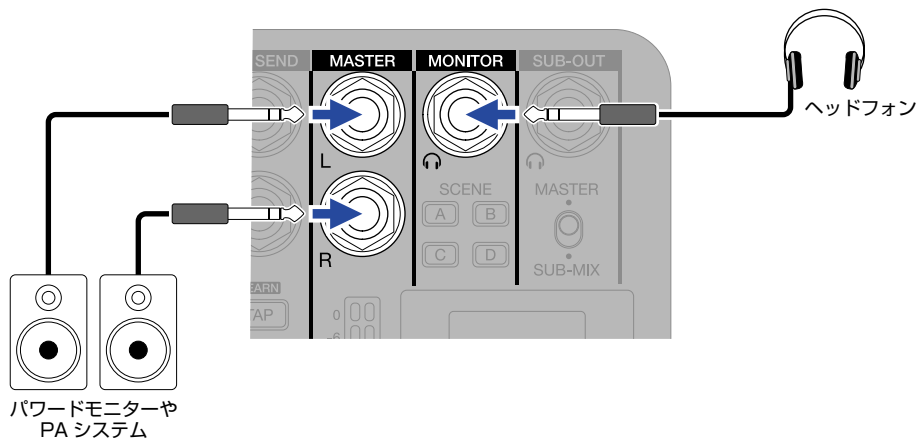
# 接続する

## ■マイクや楽器を接続する



ファンタム電源に対応していない機器にはファンタム電源を供給しないでください。機器が破損することがあります。

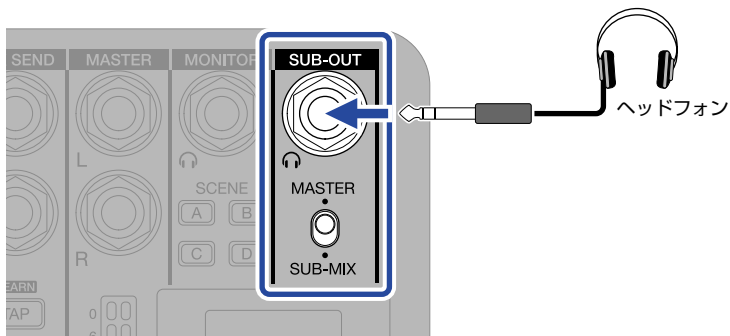
■パワードモニターやヘッドフォンを接続する



ノイズの発生や故障を防ぐために、パワードモニターは接続が終わってから電源をオンにしてください。

■ SUB-OUT 端子を使用する

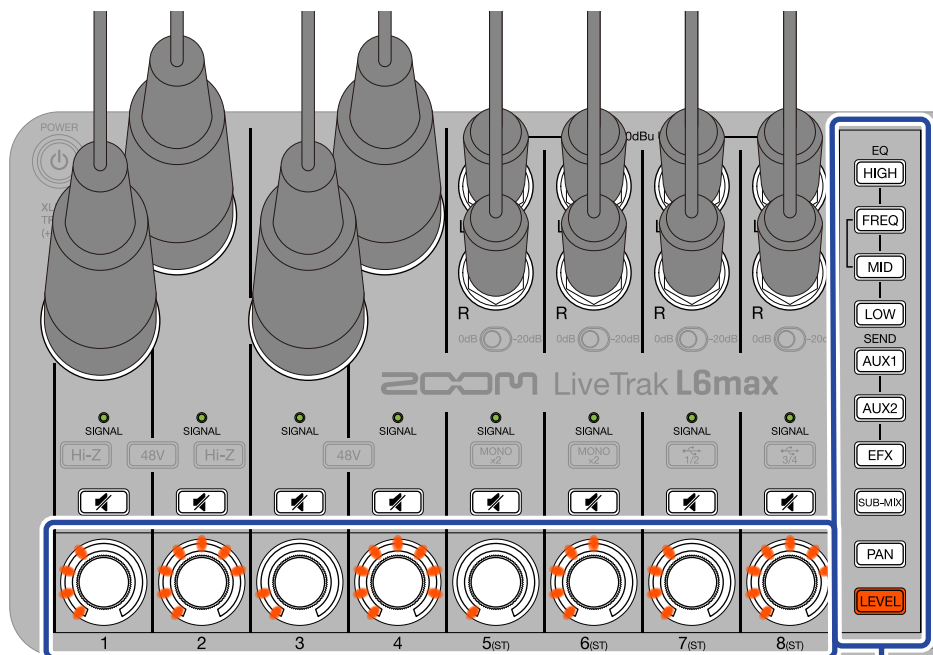
MASTER OUT 端子と同じ信号を出力したり、別のミックス（SUB-MIX）の信号を出力できます。



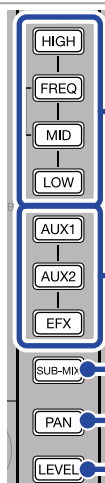
|                                                           |                                                                                                          |
|-----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div><div>MASTER</div><div></div><div>SUB-MIX</div></div> | MASTER と同じ信号を出力します。                                                                                      |
| <div><div>MASTER</div><div></div><div>SUB-MIX</div></div> | SUB-MIX の信号を出力します。<br><div> を押して  で各チャンネルの音量を調節します。<br/>(→ <a href="#">「各チャンネルの音量、音質、定位を調節する」</a>)</div> |

# 音量、音質、定位を調節する

## ■各チャンネルの音量、音質、定位を調節する



回して調節する **2** 押して点灯させる **1**



高域／中域／低域のブースト／カット量を調節します。

**FREQ** は中域の中心周波数を調節します (100 Hz ~ 8 kHz)。

**AUX1** / **AUX2** は AUX SEND 端子への送り量を調節します。

**EFX** は内蔵エフェクトへの送り量を調節します。

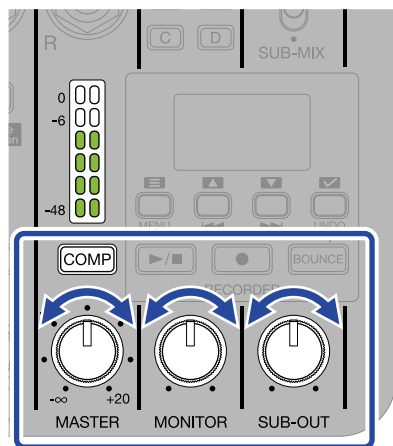
**SUB-MIX** の音量を調節します。

**PAN** 定位を調節します。

**LEVEL** 音量を調節します。

 を押して点灯させると、そのチャンネルから MASTER へ送る信号をミュートします。各チャンネルの録音データはミュートされず、録音されます。

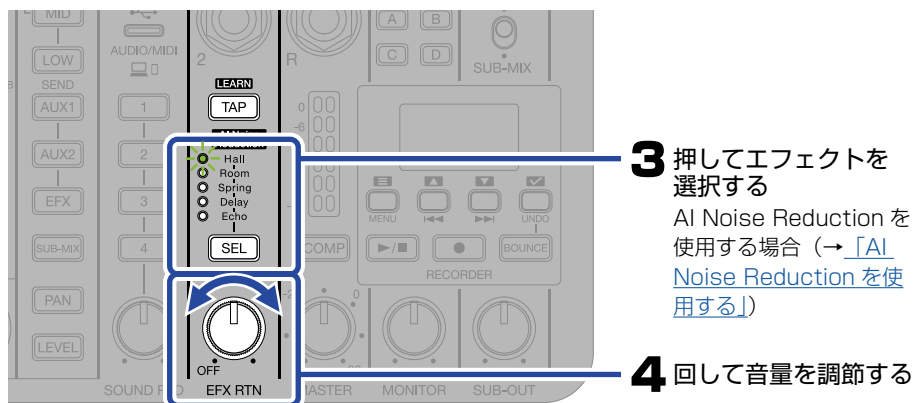
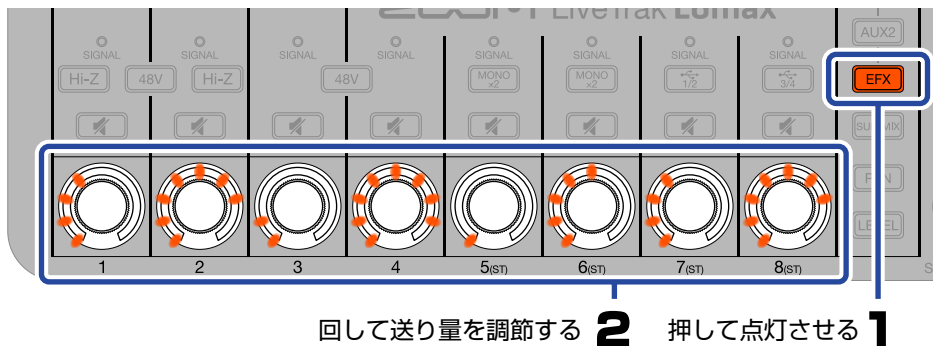
## ■出力音量を調節する



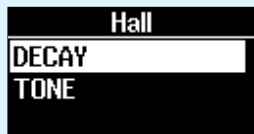
MASTER OUT や MONITOR OUT (ヘッドフォン)、SUB-OUT (ヘッドフォン) の音量を調節します。

**COMP** を押して点灯させると、MASTER OUT L/R 端子や SUB-OUT 端子から出力される音圧を上げつつ、音割れを防ぐことができます。

## 内蔵エフェクトを使用する

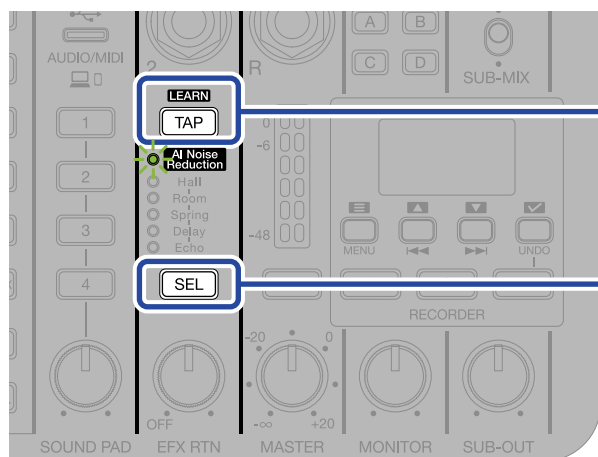


- **TAP** を押した間隔で、Delay と Echo の時間を設定できます。
- Menu 画面から各エフェクトのパラメーターを調節することができます。



## AI Noise Reduction を使用する

L6max の AI Noise Reduction を ON にすると、環境音などのノイズを軽減することができます。



**2** 押して周囲の騒音を学習させる

学習中（3 秒間の点滅中）は、環境音などのノイズだけを入力してください。

**1** 押して「AI Noise Reduction」を選択する

AI Noise Reduction は MASTER へ送られる信号にかかります。各チャンネルの録音データには反映されません。

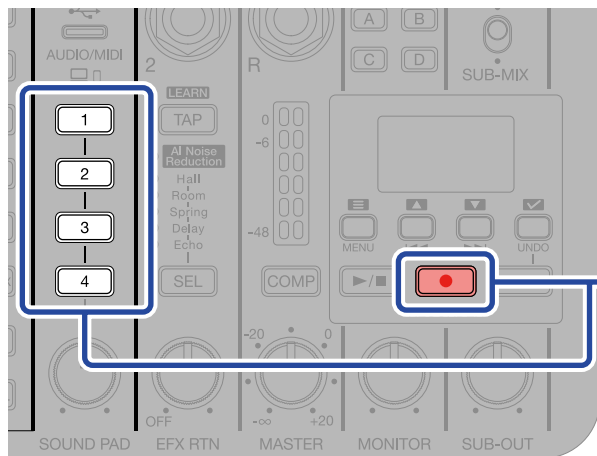
学習後、**TAP** を押して点滅状態にすると、「AI Noise Reduction」を OFF にすることができます。

# SOUND PAD を使用する

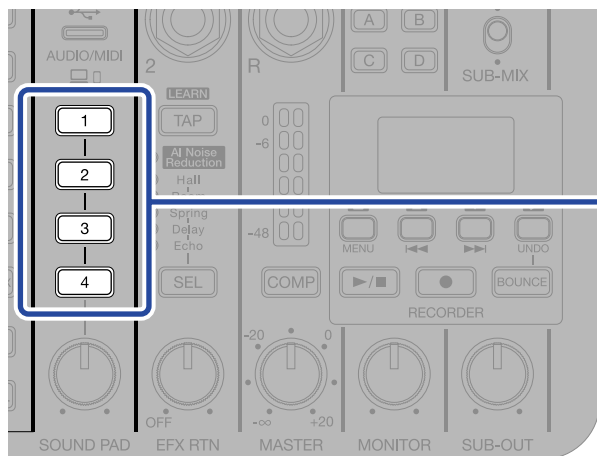
SOUND PAD 1 ~ 4 を押すと割り当てられた音声を再生します。

L6max 本体を使用して 1 ~ 4 に音声を録音できます。

## ■ SOUND PAD に音声を録音する

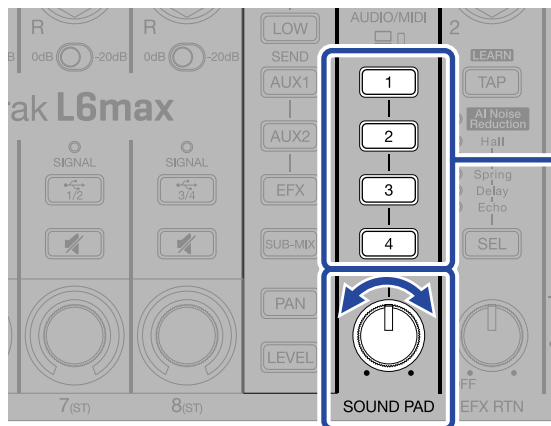


- 1** RECORD 押したまま 1 ~ 4 を押す  
キーが早く点滅し、MASTER OUT の音声の録音が始まります。



- 2** 点滅中の 1 ~ 4 を押す  
録音が停止します。

## ■ SOUND PAD を鳴らす

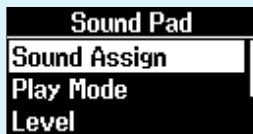


**1** 回して音量を調節する

**2** 押して音声を鳴らす  
キーがゆっくり点滅し、音声  
が鳴ります。初期状態では、ル  
ープ再生 (Loop) になっています。

**3** もう一度押して音声を止める

- Menu 画面から SOUND PAD に割り当てられている音声ファイルを外したり、変更することができます。また、個別に再生方法や音量の設定もできます。



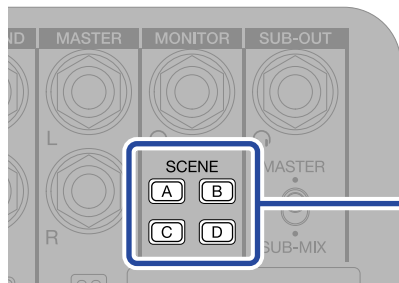
- 専用アプリ「L6 Editor」でも設定できます。(→ [「パソコン用アプリ」\[L6 Editor\]](#))



## シーンを使用する

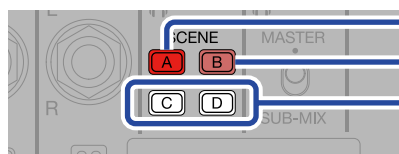
L6max のミキサーの設定をシーンとして SCENE **A** ~ **D** に保存し、いつでも呼び出せます。

### ■シーンの保存



長押し

キーが短く点滅した後点灯し、ミキサーの設定が保存されます。



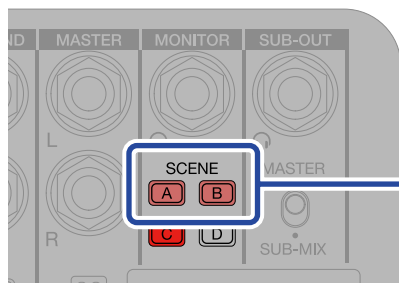
保存され選択されている（明るく点灯）

保存され選択されていない（薄く点灯）

保存されていない（消灯）

選択されているシーンからミキサーの設定を変更すると、キーが点滅します。

### ■シーンの呼び出し

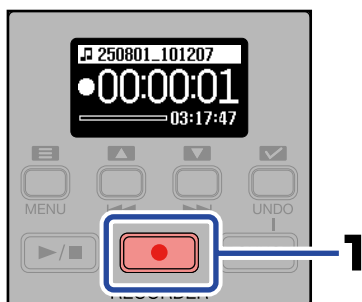


設定が保存されているキー（薄く点灯、または明るく点滅）を短くを押す

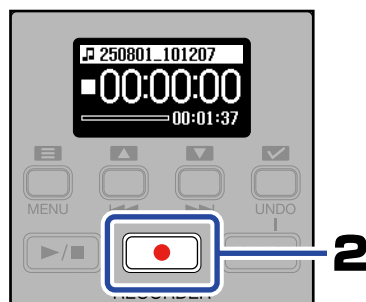
Menu 画面からミキサーの設定を初期化することができます。



## 録音／停止する



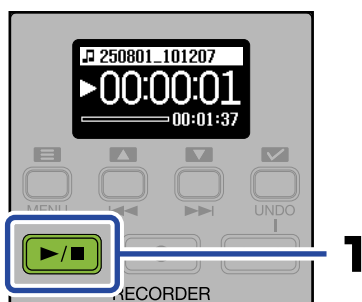
録音が始まります。



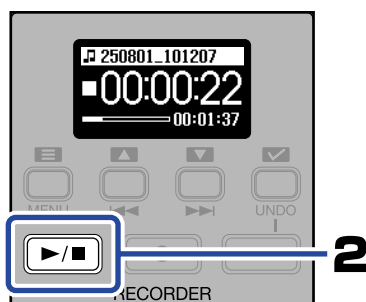
録音を停止します。

 を押して、録音を停止することもできます。

## 再生／停止する

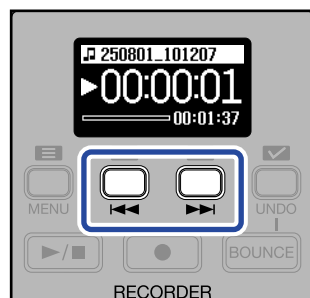


再生が始まります。



再生を停止します。

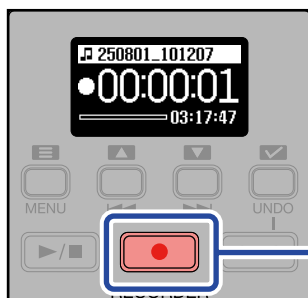
### ■再生中の操作



|                                                                                     |                                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
|  | 前のプロジェクト／プロジェクトの先頭に移動します。<br>長押しすると、早戻しします。 |
|  | 次のプロジェクトに移動します。<br>長押しすると、早送りします。           |

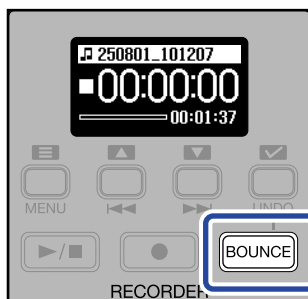
## 多重録音をする

録音したトラック 1 ～ 8 をステレオのバウンストラックにまとめて (BOUNCE 機能)、新たにトラック 1 ～ 8 に録音します。この操作を繰り返し行い、多重録音したステレオファイルを作ることができます。

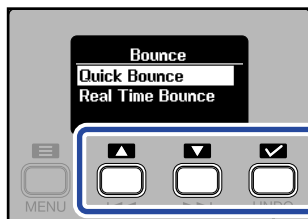


**1** 最初の録音をする

 で録音を停止します。  
(→「録音／停止する」)



**2**



**3** BOUNCE 方法を選択する

|                  |                                                                                        |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| Quick Bounce     | 短時間でトラック 1 ～ 8 をステレオトラックにまとめることができます。                                                  |
| Real Time Bounce | BOUNCE 中にチャンネルエンコーダーで音量、音質、定位を調節したり、SOUND PAD を鳴らしながらトラック 1 ～ 8 をステレオトラックにまとめることができます。 |

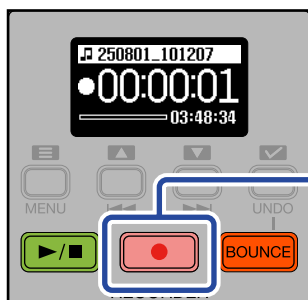


BOUNCE が完了し、追加録音が可能となります。

BOUNCE を元の状態に戻すには、



を押してください。UNDO 機能を使用できるのは、直前の BOUNCE のみです。



- 4 再度録音する**  
BOUNCE してできたステレオトラックも再生されます。で録音を停止します。

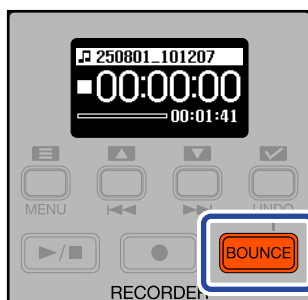
途中から録音することもできます。

- 5 手順 2 ～ 4 を繰り返す**

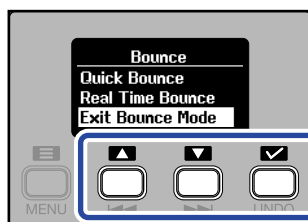
BOUNCE せずに録音し直すと、BOUNCE 前のトラック 1 ～ 8 の録音ファイルは消去され、新しい録音ファイルに差し替えられます。

- 6 BOUNCE して 1 つのステレオファイルを作る (手順 2 ～ 3)**

## ■ BOUNCE モードを終了する



**1**



**2**

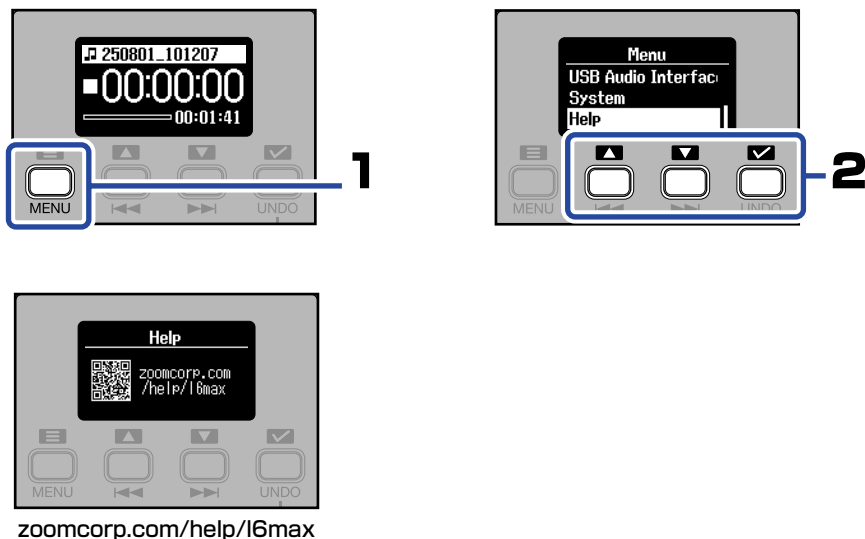
「Exit Bounce Mode」を選択して で決定する

が消灯し、BOUNCE モードは終了します。

## オンラインヘルプの 2 次元コードを表示する

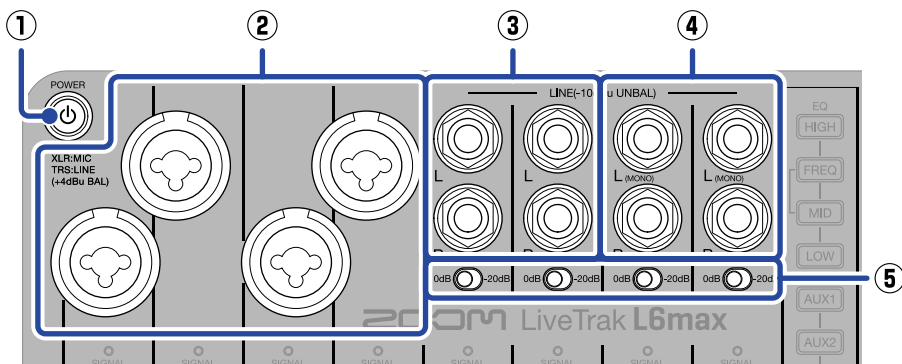
Menu の Help を選択すると 2次元コードを表示します。

スマートフォンで読み取ると、製品に関する詳しいドキュメントをご覧いただけます。



# 各部の役割

## ■インプットセクション

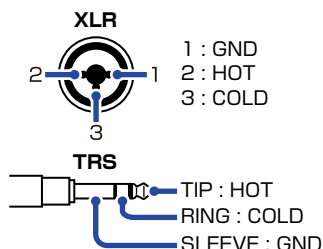


### ① 電源キー

電源を ON/OFF します。

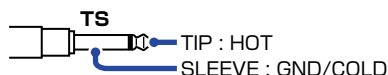
### ② INPUT 1/2/3/4 端子

マイクや楽器を接続します。XLR、1/4 インチフォン (TRS) プラグに対応しています。



### ③ INPUT 5 ~ 6 端子

シンセサイザーやサンプラー、エフェクターなどを接続します。1/4 フォン (TS、アンバランス) プラグに対応しています。



### ④ INPUT 7 ~ 8 端子

シンセサイザーやサンプラー、エフェクターなどを接続します。1/4 フォン (TS、アンバランス) プラグに対応しています。

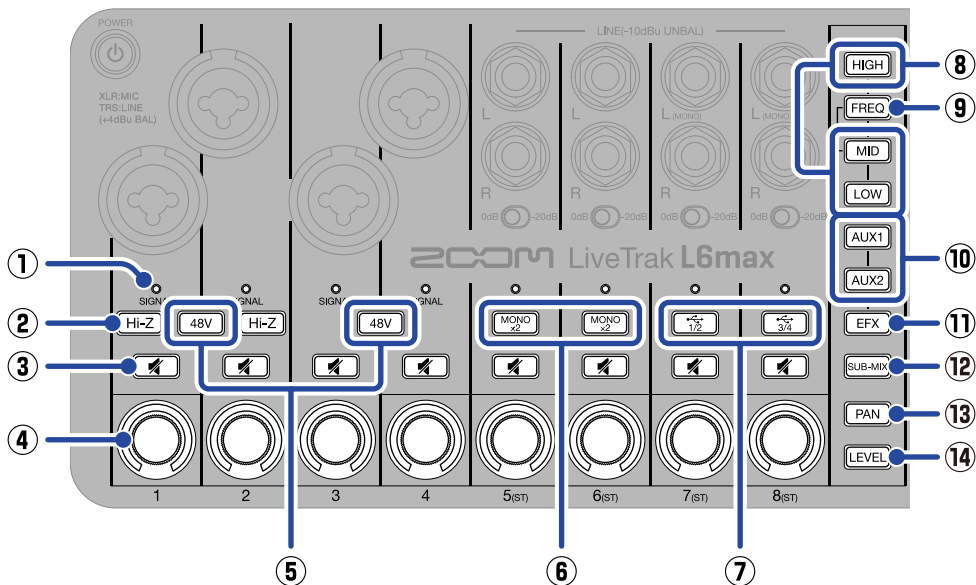
モノラル機器を接続するときは、L (MONO) 端子に接続してください。



### ⑤ PAD スイッチ

ラインレベル出力機器を接続する場合 (音が歪む、シグナルインジケーターが赤点灯する場合) は、-20 dB 側に切り替えてください。

## ■チャンネルセクション



### ① シグナルインジケータ

信号が入力されていると緑色に点灯します。クリップすると赤色に点灯します。

### ② Hi-Z キー

ギターやベースを直接接続するときに押して点灯させます。

### ③ ミュートキー

押して点灯させると、押したチャンネルをミュートします。

### ④ チャンネルエンコーダー

各チャンネルの音量、音質、左右の定位、エフェクト、AUX への送り量、SUB-MIX の音量を調節します。調節量はエンコーダー周りのインジケータで表示されます。

### ⑤ 48V キー

押して点灯させると、INPUT 1、2(3、4) 端子 (XLR) に +48 V のファンタム電源を供給します。

### ⑥ MONO キー

押して点灯させると、モノラル 2 系統の入力ができます。

音量、音質、左右の定位、エフェクト、AUX、SUB-MIX への送り量の調節は、モノラル 2 系統共通となります。

### ⑦ USB 1/2 (USB 3/4) キー

押して点灯させると、オーディオインターフェイス使用時にパソコンまたはスマートフォンのチャンネル 1、2(3、4) の音声を入力します。

点灯中は、INPUT 7(8) 端子からの音声は入力されません。

### ⑧ HIGH/MID/LOW キー

高音域／中音域／低音域のブースト／カット量を調節するときに押して点灯させます。

### ⑨ FREQ キー

中音域のブースト／カットする帯域を調節するときに押して点灯させます (100 Hz ～ 8 kHz)。

### ⑩ AUX1、AUX2 キー

AUX SEND 1/2 端子への送り量を調節するときに押して点灯させます。

### ⑪ EFX キー

内蔵エフェクトへの送り量を調節するときに押して点灯させます。

### ⑫ SUB-MIX キー

SUB-MIX の音量を調節するときに押して点灯させます。

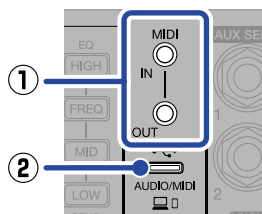
### ⑬ PAN キー

各チャンネルの音の左右の定位を調節するときに押して点灯させます。

### ⑭ LEVEL キー

各チャンネルの音量を調節するときに押して点灯させます。

## ■ MIDI、USB セクション



### ① MIDI IN/OUT 接続端子

3.5 mm TRS ケーブルを使用して、MIDI 機器を接続します。

L6max がパソコンまたはスマートフォン／タブレットの USB MIDI インターフェースとなって、MIDI 機器をコントロールしたり、MIDI 機器からの信号を受信することができます。

また、MIDI 信号を受けて L6max をコントロールすることもできます。

### ② USB 端子 (Type-C)

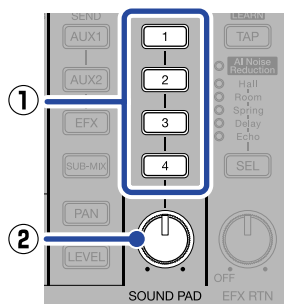
パソコンやスマートフォン／タブレットと接続して以下のことができます。

- パソコン用アプリケーション「L6 Editor」で L6max の詳細設定やファイル転送機能を使用する
- L6max をオーディオインターフェースとして使用する
- L6max を USB MIDI インターフェースとして使用する
- MIDI 機能を使って L6max をコントロールする

USB バスパワー動作に対応しています。



## ■ SOUND PAD セクション



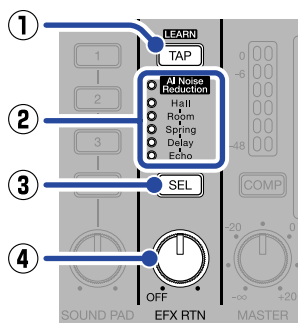
### ① SOUND PAD 1 ～ 4 キー

各 PAD にオーディオファイルを割り当て、押すことによって再生できます。

### ② SOUND PAD ノブ

SOUND PAD 1 ～ 4 の音量を調節します。

## ■ EFX セクション



### ① TAP キー

内蔵エフェクトの「Delay」または「Echo」を選択しているときに、押した間隔でディレイタイムを設定できます。設定したディレイタイムの間隔で **TAP** が点滅します。

「AI Noise Reduction」を選択しているときに押すと、周囲の騒音を学習します。

### ② 内蔵エフェクトインジケータ

選択中の内蔵エフェクトのインジケータが点灯します。

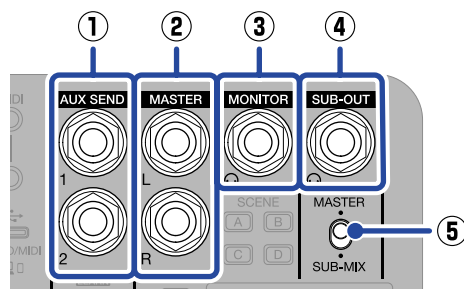
### ③ SEL キー

内蔵エフェクトを選択します。押すたびに内蔵エフェクトが切り替わります。

### ④ EFX RTN ノブ

内蔵エフェクトの音量を調節します。

## ■アウトプットセクション



### ① AUX SEND 1/2 端子

外部エフェクターなどを接続します。  
TRS プラグに対応しています。



### ② MASTER OUT L/R 端子

PA システムやパワードモニターなどに  
接続し、L6max でミキシングしたステ  
レオ音声を出力します。TRS プラグに  
対応しています。



### ③ MONITOR OUT 端子

ヘッドフォンを接続し、L6max でミキ  
シングしたステレオ音声をモニターで  
きます。

### ④ SUB-OUT 端子

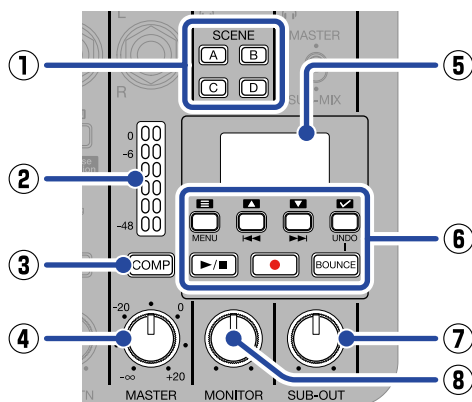
MASTER と同じ信号または SUB-MIX  
の信号を出力します。

### ⑤ SUB-OUT 出力切り替えスイッチ (MASTER/SUB-MIX)

「MASTER」を選択すると、MASTER  
と同じ信号を SUB-OUT 端子から出力  
します。

「SUB-MIX」を選択すると、SUB-MIX  
の信号を SUB-OUT 端子から出力しま  
す。

## ■マスターセクション



### ① シーン選択キー

L6max のミキサーの設定を保存したり呼び出したりします。

### ② マスターレベルメーター

MASTER OUT L/R 端子から出力される音量を -48 dB ~ 0 dB の範囲で表示します。

### ③ COMP キー

押して点灯させると、MASTER OUT L/R 端子や SUB-OUT 端子 ([MASTER] 選択時) から出力される音圧を上げつつ、音割れを防ぐことができます。

### ④ MASTER ノブ

MASTER OUT L/R 端子から出力される音声の音量を -∞ ~ +20 dB の範囲で調節します。

### ⑤ ディスプレイ

各種情報を表示します。

## ⑥ 各種キー

|                                                                                                     |                                                                                  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| <br>MENU<br>操作キー 1 | ホーム画面では、Menu 画面を表示します。<br>Menu 画面では、1 つ前の画面に戻ります。                                |
| <br>操作キー 2         | Menu 画面では、上の項目を選択します。<br>再生 / 停止中に、前のプロジェクト / プロジェクトの先頭に移動します。<br>長押しすると、早戻しします。 |
| <br>操作キー 3         | Menu 画面では、下の項目を選択します。<br>再生 / 停止中に、次のプロジェクト / プロジェクトに移動します。<br>長押しすると、早送りします。    |
| <br>UNDO<br>操作キー 4 | Menu 画面では、選択した項目を決定します。<br>多重録音 (BOUNCE モード) 中では、BOUNCE を元の状態に戻します。              |
| <br>PLAY/STOP キー   | 録音したプロジェクトを再生 / 停止します。<br>再生中はインジケーターが点灯します。                                     |
| <br>REC キー         | 録音を開始します。<br>録音中はインジケーターが点灯します。<br>録音中に押すと、録音を停止します。                             |
| <br>BOUNCE キー     | 録音したトラック 1 ~ 8 をステレオトラックにまとめます (BOUNCE 機能)。                                      |

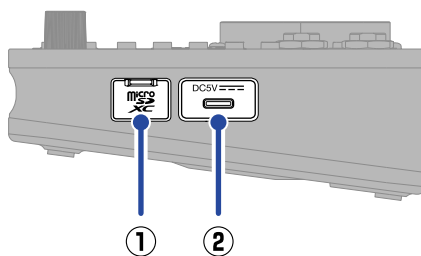
### ⑦ SUB-OUT ノブ

SUB-OUT 端子から出力される音声の音量を調節します。

### ⑧ MONITOR ノブ

MONITOR OUT 端子から出力される音声の音量を調節します。

## ■本体右側面



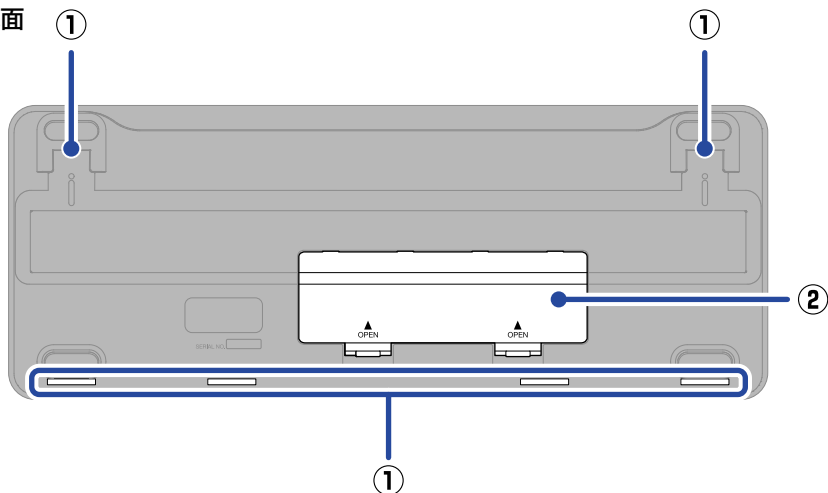
### ① microSD カードスロット

microSD カードを挿入します。

### ② 電源用 USB 端子 (Type-C)

AC アダプター (AD-17) またはモバイルバッテリーを接続する電源用 USB 端子です。

## ■本体底面



### ① ユーロラックアダプター (ERL-6) 取り付け用穴

### ② 電池カバー

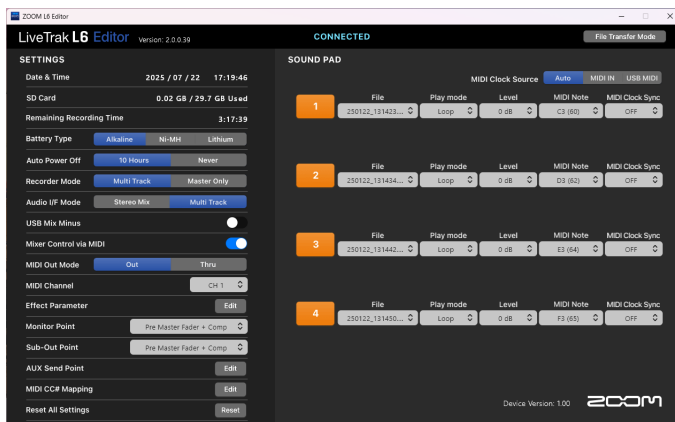
単三電池の取り付け／取り外しをするときに開きます。

## その他の機能

### ■パソコン用アプリ「L6 Editor」

L6max の様々な設定を変更したり、確認できます。またパソコンにファイルを転送することもできます。

詳細はオペレーションマニュアルを参照してください。

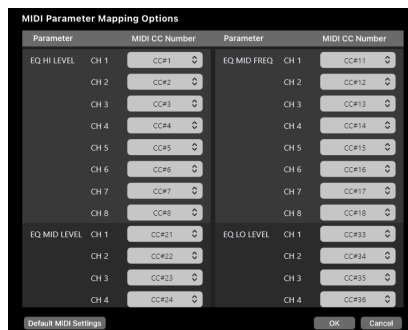
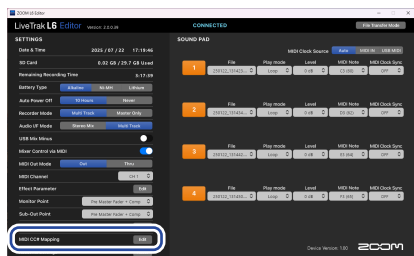


一部の設定は L6max 本体だけで設定することができます。詳細はオペレーションマニュアルを参照してください。

### ■MIDI で L6max をコントロール

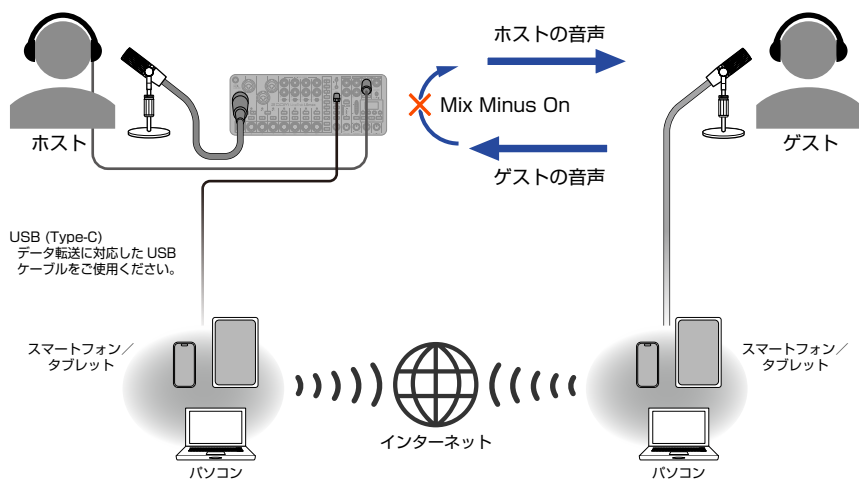
L6max のパラメーターに MIDI コントロールナンバーを割り当てることができます。MIDI コントローラーや MIDI キーボードなどの MIDI 機器、パソコンの DAW ソフトウェアなどから MIDI コントロールナンバーに対応する操作を行なって、L6max を操作できます。

詳細はオペレーションマニュアルを参照してください。



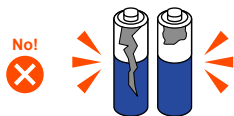
## ■ USB Mix Minus 機能を搭載

Web 会議やリモート収録時のフィードバックを防止する機能です。



## 電池を使用する際のご注意

電池を使用する際は、故障や液漏れを防ぐために、以下の点にご注意ください。



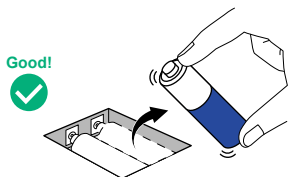
被覆が剥がれている、または表面に傷がある電池は使用しない



異なる種類やメーカーの電池を混ぜて使用しない



新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない



使い切った電池は早めに取り外す  
長期間使わないときは電池を取り外す

## 故障かなと思う前に

| 問題                   | 解決方法                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 音が出ない、もしくは非常に小さい     | ヘッドフォンや出力のケーブルが正しく接続されているか確認してください。正しく接続されていても音が出ない場合は、ケーブルの断線が考えられます。ヘッドフォンや出力のケーブルを交換してください。                                                                                                                                                                                               |
|                      | MONITOR や MASTER、SUB-OUT および各チャンネルの出力レベルが下がっていないか確認してください。                                                                                                                                                                                                                                   |
|                      | 接続機器を INPUT 1 ～ 8 端子に接続するケーブルが正しく接続されているか確認してください。ダイナミックマイクやコンデンサーマイクは、INPUT 1 ～ 4 端子に XLR プラグを使用して接続してください。正しく接続されていても音が出ない場合は、ケーブルの断線が考えられます。ケーブルを交換してください。                                                                                                                                |
|                      | INPUT 5 ～ 8 端子に接続した機器の音量が小さい場合は、<br>0dB  -20dB が -20 dB 側になっていないか確認してください。                                                                                                                                  |
|                      | マイクの向きや接続機器の音量設定を確認してください。                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                      |  が点灯していないか確認してください。                                                                                                                                                                                         |
|                      | コンデンサーマイクを使用している場合は、  が ON になっていることを確認してください。                                                                                                                                                               |
| 出力音が歪む               | ラインレベル出力機器を接続する場合（音が歪む、シグナルインジケーターが赤点灯する場合）は、0dB  -20dB を -20 dB 側に切り替えてください。                                                                                                                               |
|                      | 大音量でモニターしているときは、  /  /  で出力音量を下げてください。 |
|                      |  で各チャンネルの音量を調節してください。                                                                                                                                                                                     |
| 録音した音が大きい、小さい、もしくは無音 | 録音した音が大きすぎる場合は、マイクと音源の距離を離す、または接続機器の音量を下げてください。                                                                                                                                                                                                                                              |
|                      | コンデンサーマイクを使用している場合は、  が ON になっていることを確認してください。                                                                                                                                                             |
| 録音できない               | microSD カードに空き容量があることを確認してください。                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                      | カードスロットに microSD カードが正しくセットされていることを確認してください。                                                                                                                                                                                                                                                 |



| 問題                                  | 解決方法                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 録音した音声途切れる                          | 本体のカードテスト機能を使って、テストに合格したカードを使用してください。<br>詳細はオペレーションマニュアルを参照してください。                                                                                                                             |
|                                     | 動作確認済み microSD カードの使用をお勧めします。<br>ZOOM の Web サイト (zoomcorp.com/help/l6max) で確認してください。                                                                                                           |
| 録音したファイルが壊れている                      | 録音中に電源遮断などの問題が発生した場合でも、一定時間ごとにファイルが自動保存されているため、microSD カードを L6max に読み込ませ、該当ファイルを再生することで、正常なファイルとして復帰させられる場合があります。                                                                              |
| パソコンやスマートフォン／タブレットと USB 接続しても認識されない | データ転送に対応した USB ケーブルを使用してください。<br>充電専用ケーブルではデータ転送できません。<br>本体右側面の電源用 USB 端子ではなく、本体上面の USB 端子に USB ケーブルを接続してください。                                                                                |
| 日時情報がリセットされる                        | 長期間 AC アダプターや電池から電源が供給されない状態が続いて、日時保持用の電源を消費しまった場合、本体に記憶した情報がリセットされます。<br>電源起動時に日時の設定画面が表示された場合は、設定し直すか、L6max とパソコンを USB ケーブル (Type-C) で接続し、「L6 Editor」を起動して日時情報を取得してください。                     |
| 内蔵エフェクトがかからない                       |  で内蔵エフェクトの音量を調節してください。                                                                                        |
|                                     |  を押して  で各チャンネルの送り量を調節してください。 |
| SOUND PAD が使用できない                   | SOUND PAD にオーディオファイルが割り当てられていることを確認してください。                                                                                                                                                     |
|                                     | SOUND PAD の個別の音量を調節してください。                                                                                                                                                                     |
|                                     |  で SOUND PAD の音量を調節してください。                                                                                  |

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。  
microSDXC ロゴは、SD-3C LLC の商標です。



USB Type-C は、USB Implementers Forum の商標です。

文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

他の者が著作権を保有する CD、レコード、テープ、実演、映像作品、放送などから録音する場合、私的使用の場合を除き、権利者に無断での使用は法律で禁止されています。著作権法違反に対する処置に関して、株式会社ズームは一切の責任を負いません。

文中のイラストおよび表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。



**株式会社ズーム**

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3

[zoomcorp.com](http://zoomcorp.com)